



# 親和会ニュース 4月号

El pequeño boletín para los residentes permanentes



親和会公式掲示板

## 広報誌の戸別配布休止のご案内



日頃より親和会活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

この度、毎月定住会員の各家庭に配布している「広報いとう」および「親和会ニュース」の配布方法を変更することになりました。今年6月を目処に各ゴミステーションに『広報BOX』を設置し、ご自身のタイミングで「広報いとう」および「親和会ニュース」をお受け取りいただけるよう“置き配”方式に変更いたします。これにより別荘として利用される会員の方々も広報誌をお受け取りいただけます。

『広報BOX』の設置が整うまでの間、役員や班長が可能な限り戸別配布を行います。配布が届かない場合がございます。その際にはお手数をおかけしますが、親和会事務所にてお受け取りいただけますようご協力をお願いいたします。

また、長年にわたり広報誌の戸別配布にご尽力いただいた会員ボランティアの木下様、吉野様には心より感謝申し上げます。お二方のご協力のおかげで、特別な戸別配布サービスを実施することができました。本当にありがとうございました。

現在協議中ですが、ゴミステーションに『親和会お知らせボード(仮称)』を設置し、重要な情報を遅滞なくお知らせする計画もございます。今後とも効率的で持続可能な形で親和会の情報をお届けできるよう努めてまいりますので、皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

皆さーん!ほんの少しお時間をくださいな。

広報誌を作るために、たくさんのボランティアが一生懸命頑張っています。でもね、読まれずにそのままゴミ箱行きなんてこともあって…それはちょっと悲しいですね。どうか一度手に取って、パラパラとめくってみてください。地域のイベント情報や未来の課題、そしてお役立ち情報がたっぷり詰まっていますよ。

### 伊東市広報誌 『広報いとう』

発行 毎月  
配布先 定住会員 約1,000件  
配布費 約42万円/年  
(親和会負担分)

### 親和会広報誌 『会報いづこうげん』

発行 年2回(夏・冬)  
配布先 全会員 約3,000件  
制作費 約22万円/年  
郵送費 約85万円/年

### 定住者向けミニ会報 『親和会ニュース』

発行 毎月  
配布先 定住会員 約1,200件  
制作費 約10万円/年  
配布費 広報いとうに折込

市政情報やイベント、健康・福祉、教育、防災・安全、文化・スポーツなど市民生活に関する情報が掲載。

親和会の決算・予算をはじめ、活動状況や今後の課題などから、イベントや各種案内を全会員向けにお知らせしています。

定住者に向けた情報を中心に、会員投稿のお庭自慢、イベントやサークル案内、ゴミ収集日をお知らせしています。

環境への配慮やコスト削減の観点から、静岡市や浜松市、沼津市などはデジタル化が進んでいます。

広報の素人集団が企画・編集・入稿・発送までを行っていますので、拙いところはご寛容ください。

今後はゴミステーションで全会員が手に取っていただけるようになります。

完全に紙媒体の広報誌を廃止している自治体も増えています。伊東市は今後どのように進んでいくのでしょうか。



ネット印刷を使い、最も安価な紙を使用していますので、他の自治会広報誌と比較して制作費は最低レベルと自負しています。



こちらも全てを広報自前で行っています。安いプリントバック、そしてコピー用紙より安価な紙を使っていますので、1部あたり7円弱です。不要なものなら高額ですが...



# 「限界集落に突き進む伊豆高原」



現在、伊豆急伊豆高原・南大室分譲地は大きな岐路に立っています。定住者数は微増しているものの、高齢化による空き家の増加や住民コミュニティ機能の低下が進み、2030年には深刻な状態に陥ると予測されます。2035年には自治管理組合が破綻し、道路や側溝などのインフラは荒れ放題、2040年ついに伊豆高原はゴーストタウンと化します。ご心配なく、これはChatGPTが出した最も悲観的なシナリオです。

とはいえ、東伊豆エリアの別荘分譲地の中には、築20年・敷地200坪の家が1円でも売れない『限界分譲地』が存在しますので、決して他人事ではありません。

## 限界分譲地への道のり

☆ 高齢化・人口減少の加速

↓ 空き家・廃屋の増加

↓ インフラの老朽化、道路・側溝の荒廃

↓ 自治会・管理会社の機能消滅

★ 管理不能な状態に陥り破滅 ★

高齢化に抗うことはできませんが、現状を認識し、対策を講じることは可能です。少し耳の痛い話ですが、伊豆高原のようなリゾート分譲地に定住するための条件は、次のように言われています。

- A) 生活に必要な交通手段を自ら確保できる
- B) 自宅周りの整備・清掃が定期的に行える
- C) 近隣や自治会との良好な関係(災害時の共助)
- D) 医療の安心や生活の便利さを手放す覚悟

伊豆高原には比較的良好な生活インフラが整っていますが、医療や救命対応の準備、防災対策は自己責任で行わなければなりません。先に述べた条件を満たさない限り、リゾート地の別荘分譲地に暮らすことは適切ではないようです。

終の棲家と考え伊豆高原に移り住んだ当初は、これらの条件を十二分に満たしていたことでしょう。しかし、時が経つにつれて体力や覚悟が失われ、その時と同じようには過ごせなくなってきます。上の条件(A)や(B)に不安があっても、条件(C)はちょっとした努力で維持できます。

さて話を『限界分譲地』に戻しましょう。集計作業が進む第2回アンケートに、「道路・側溝の補修は現状のままで良い」と答えた会員が7割近くを占めているようです。このことから、高齢化 ⇒ 空き家の増加 ⇒ インフラの老朽化と「限界分譲地」に向かう道の上に立っているようです。

移住者と別荘族で成り立っている私たちの親和会は、高齢化と無関心が加わり、自治活動に参加・協力する会員が非常に少なくなっています。これは、「自治会機能の低下・消滅」への一歩であり、いよいよ限界分譲地への最終段階に向かっているのでしょうか。

私たちが伊豆高原に移り住むことを決めたその昔、数多くの別荘分譲地から選び抜いて購入した伊豆高原が、まさか十数年後に「破綻」する!? そのような姿を見過ごすことは絶対にできません。

親和会会員の多くを占める団塊世代の皆様は、戦後日本の復興と高度経済成長を力強く支えてきました。しかし、バブル崩壊後は医療や社会保障改革、公共インフラの改修といった課題を先送りしてきたと学者連中は指摘します。今、私たちが暮らす伊豆高原親和会エリアの課題を見過ごし、問題を先送りすれば10年後、20年後にどういう未来が待っているのでしょうか。

“その時には私たちはもうこの世にいないので関係ない”と逃げちゃいましょうか！ それとも、戦後日本の復興を牽引したように、地域を支えるために力を貸してあげますか。

道路・側溝の整備や保守には会費の値上げが避けられません。しかしながら、本当に大きな金額を費やさなければ現状を維持することはできないのでしょうか？

“先送り”や“人任せ”、“無関心”を封印して、子供たちや未来の世代に負担を残さないよう、決して『限界分譲地』にしない方法を知恵を絞り、それを皆で協力すれば可能はずです。遅きに失することは避けるため、先ずは無関心を封印しませんか。(風見鶏)



# 春だ！みんな動き出す！

温かい春の到来とともに「伊豆高原に文化の灯を」と動き出した人たちがいます。もともとアートフェスティバルに代表される市民の文化活動が盛んだった伊豆高原、この灯を求めて移住してきた人たちも多かったと思います。そんな伊豆高原の住民に、身近なイベントのいくつかを紹介します。



**3月30日（土）14:00～15:30 南回帰線リレー講座「見返り鹿は何を見たか」**  
天竜川を見下ろす大地の古墳から出土し、東京国立博物館特別展に出展され大人気となったこの埴輪「見返り鹿」は何を見ていたのだろうか。見返り鹿の目を通して古墳時代のヤマト王権と渡来人の足跡をたどります。  
講師：野島恭一先生（静岡文化芸術大学） 場所：(富戸) ホテル南回帰線  
照会：0557-51-3536（水野） 参加費：500円（コーヒー付き）



**4月20日（日）14:00～15:30 「昼下がりのシャンソン」**  
シャンソンコンサートと名曲を皆で歌う歌声サロン  
歌：吉川裕子  
ピアノ・アコールドィオン：長澤ひとみ  
照会・場所：南回帰線 参加費：1000円

## りんがふらんか城ヶ崎文化資料館企画展

**4月2日(水)～13日(日) なかそれいこ絵画展**  
「山越え 古希越え 気ままに伊豆三昧」  
**4月23日(水)から27日(日) 阿部美佐子写真展**  
あの日 あの時あの瞬間「目醒め写真展」  
照会：080-4125-6850（りんがふらんか）

**5月11日（日）14:00～15:30 「外郎売りで遊ぼう会」**

歌舞伎十八番の口上劇、俳優、アナウサーの滑舌練習の定番。  
滑舌と口角ストレッチで日ごろのうっぶんも吹っ飛ばそう。  
指導：タエちゃん（俳優座元劇団員）

**続いて朗読 宮沢賢治「春と修羅」**

朗読：彩木りさ子  
場所：(川奈) サザンクロスリゾート  
参加費：200円（テキスト代）  
照会：090-4214-3758（太田）



## 定住して親和会に思うこと

土地会員5年、別荘会員8年を経て、定住してまもなく3年になります。定住目的で土地を購入したのは、私自身が三島の生まれである程度土地勘があり、豊かな自然と、引き換えに諸々の不便と、伊豆急（東急）ブランドと、別荘地という近隣との適度な距離感とを想定していたからです。

絡会への参加など、土日の行事には参加していたかもしれませんが、昨年来の親和会ニュースが、別荘時代にも配布されていたれば、と思うばかりです。

定住してからの生活は、想定していた通りで、不満はありません。が、親和会の実情、周辺別荘地の実情、伊東市の市政を知るにつれ、将来の不安が募るようになりました。子供に残す資産であり、別荘地として比較的処分が容易な資産と考えていたのですが、この点は想定を外れるかもしれません。

前所有者は分譲時に購入してから手を付けておらず、原野といってよい状態でした。私は、2度ほど下草刈り、剪定をしています。今から思うと管理が至らなかったと反省しています。別荘時代はほぼ毎週通い、年間三分の一を当地で過ごしています。コロナ禍ではリモートワークを行い、年間の二分の一以上を当地で過ごしていました。

先月号に「老老介護ならぬ老老自治」と書いてありましたが、老体に鞭打って自ら動かないといけないのかと、気が滅入ります。

この頃は、管理は伊豆急親和会は自治会の認識で、興味もなく、自ら積極的に情報収集もせず（公式掲示板の存在も知りませんでした）、認識を改めないうままでした。今思えば、もう少し親和会に関する情報に接していたら、管理も怠らず、地区連

親和会からの情報発信は、複数のルートで、情報量を増やし、定住会員のみならず、別荘会員、土地会員も巻き込んではどうでしょうか。活動する人材を増やし、活動の幅が広がることを望みます。

# 親和会サークル

開催日程は親和会(公式)掲示板をご覧ください

## 環境ボランティア会



毎月1回(25日)が活動日で参加は自由

会員数は現在21名、主に区域の主要道路・駅周辺のごみ拾い、道路の傷み具合などの環境調査、市主催「ごみゼロ運動クリーン作戦」にも参加しています。

問合せ：親和会事務所(53-1122)

## パソコンサークル



毎月第1・第3火曜日に開催中のサークル

初級と中級に分かれ基礎からプログラミングまで学びます。  
ノートパソコンをお持ちでメールの送受信ができれば参加いただけます。

問合せ：高橋 亘(090-6544-6878)

## サロン・テ・スペイン語



毎月第3水曜日(午前10時)に開催のスペイン語初級クラスを開催中です!

レベルも年齢もマチマチですが、和気アアイで楽しいクラスです。スペイン語がわからなくても問題無し

問合せ：親和会事務所(53-1122)

## 夢クック料理教室



「旬の食材を使ったイタリアの家庭料理」教室を毎月開催します。3品(主食・メイン・デザート)を調理し、皆でペロリ。

4月22日、5月27日、6月24日、7月15日に開催予定、夏以降は別途ご案内します。

参加費：2,000円(材料費・講師料込)  
会場は 八幡野コミュニティセンター

問合せ：西貝恵子(090-6176-1849)

## 歌う会「夢の和」



毎月第4土曜日、ピアノ伴奏に乗って童謡 唱歌 愛唱歌 外国曲等 10数曲を歌います。

4月26日、5月24日、6月28日、7月28日の予定、親和会HPでもご確認ください。

参加費 500円  
会場は 八幡野コミュニティセンター

問合せ：関村淳子(090-5458-6349)

## 英会話サロン

第1と第3月曜日 午前10時からの集まりです。海外滞在経験者から日本語が優位の参加者まで、まちまち。  
でもサロンは全てを包含し、英語を学び合える場であることがミソ。順応性に富む集いです

## 小物づくりの会

毎月第2月曜日、小物作りや手芸好きが集まるサークルです。

問合せ：吉野 千束(53-0502)

## 親和会ゴルフ愛好会

毎月第3木曜日、近場のゴルフ場で和気あいあいとラウンドしています。  
どなたでも参加歓迎いたします。

次回は 4月17日(木)伊東カントリークラブに9時25分集合!

問合せ：平松(53-1615)

輪番の班長は掃除当番ではありません

## 4月のゴミ出し日

ゴミステーションはルールを守って

可燃ゴミ	ビン	カン	金属類	古紙 段ボール	われもの 乾電池	ペットボトル
月・水・金・日	3(木)		3(木)	8(火)		1(火)
		10(木)			10(木)	
	17(木)	17(木)				15(火)
	24(木)	24(木)		22(火)		29(火)